

# しごとと改革 取組状況報告

平成29年12月26日

# しごとと改革：都庁BPRの推進（全体像）

平成29年9月6日 都政改革本部会議資料  
（ライフ・ワーク・バランス実現PT報告書）

## 第3章 都庁BPRの推進

- 総務局（都政改革本部事務局・行政改革推進部）が主体となり、以下の取組を各局（行政改革担当部署）と連携し推進

### ＜速やかに着手する取組＞ ⇒ “3つのレス”の取組

課 題	対 応
➢ 局・部・課など階層ごとの取りまとめ等 重層的な事務作業 等	➢ 制度やシステムの制約等に起因する構造的な中間処理に関し、効率化に向けた実態調査・点検を実施。 <b>⇒はんこレス（中間処理レス）</b>
➢ 過剰な資料作成や非効率な会議運営による時間などの無駄 ➢ 紙資料の持ち運びリスクによる場所的制約 等	➢ 紙資料の作成・取扱いを止めることによる効率的な仕事の進め方を実感する取組を実施。都庁職員の“紙離れ”を促進。 <b>⇒ペーパーレス</b>
➢ 現金紛失などのリスク ➢ 引渡し、受領確認など直接的なやりとりによる時間的・場所的制約 等	➢ 全庁的調査により、残存する現金取扱い実態と課題を把握。業務のリスク・効率性の観点から対応方針を決定。キャッシュレス化を推進。 <b>⇒キャッシュレス</b>

### ＜中期的な検討を要する取組＞ ⇒ 総務事務改革

- 中間処理レスをはじめとした“3つのレス”を土台とし、各局・部・課に重層的に存在する、人事・給与、福利厚生、会計・契約・物品などの事務の集約処理化やICT技術の活用（AIなどを視野）による効率化を進める総務事務の改革に着手。

### ⇒行政手続きの電子化の取組とも連携し、都庁BPRを推進

（注）都庁BPR：ビジネス・プロセス・リエンジニアリングの略で、都庁における業務プロセスの抜本的な再構築を目指す取組として使用。

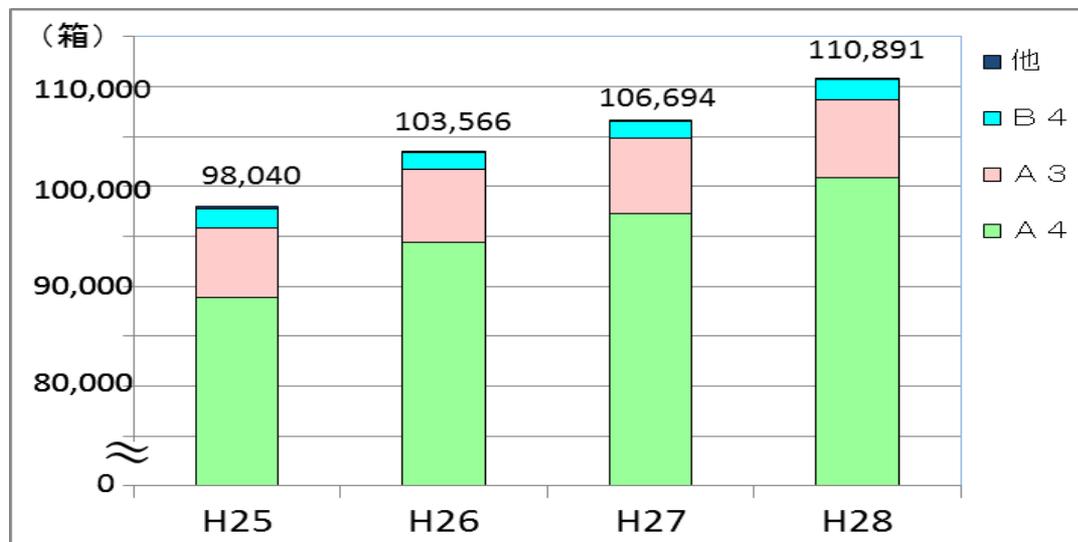
# 1 都庁における現状

# 1 都庁における現状 (1) ペーパーレス

## 【紙使用の現状】

- 都庁におけるコピー用紙の使用量は、年々増えている。

コピー用紙の使用実績（平成25年度～平成28年度）



\* 出典：東京都環境局

「東京都環境マネジメントシステム」

日常業務活動に関する目的・目標・  
プログラムの実施状況管理結果

\* 公営企業局、学校、議会局、  
東京消防庁、警視庁を除く。

## 【取組の現状】

- 本年1月から、タブレットを活用した会議システムの運用を開始  
・ 予算知事査定から導入し、現在は各局の審議会等にも拡大
- 8月から12月にかけて、本庁舎の会議室、打合せコーナーにネットワーク環境を整備
- 10月を「ペーパーレス強化月間」として、全庁的にペーパーレス会議を推進する取組を実施

## (2) キャッシュレス (支出)

### 1. 都庁における現状

○ 本年10月、全職場を対象に現金取扱いの実態調査を実施  
 <実態調査中間とりまとめ結果>

(平成28年度一般会計及び特別会計の現金取扱い支出) ※議会局、警視庁除く

種類		件数 (件)	金額(千円)	現状 (現金以外の手段)
①資金前渡	郵便料、講習会参加費、施設 使用料、5万円以下の少額案件 (文房具類の購入など) 等	166,149	3,830,838	・原則、支払手段は現金 ⇒ <b>支払手段の拡大には規定等の見直しが必要</b>
②給与・報酬	現金を希望する職員への支給	16,707	690,431	・口座振替導入済 (99.8%の職員が口座振替)
	その他イレギュラー処理 (口座振替不能・返納金等)			・イレギュラー処理として現金対応
③旅費	普通 旅費	40,125	1,524,997	・外国・国内宿泊出張など高額旅費は 立て替え困難なため職員に概算額を事 前支給、後日精算 ⇒ <b>口座振替の導入には規定等の見直 しが必要</b>
	確定払旅費 (宿泊を伴うもの) ※宿泊を伴わない出張旅費は口 座振替で支給			・職員が立て替え、後日確定額を支給 ⇒ <b>会計管理局協議により口座振替が 可能だが、概算払とセットでの事務の 見直しが必要</b>
	特別 旅費			特別職非常勤職員の旅費 等
④児童手当	※H29年2月から制度改正 (改正以前は口座振替不可)	7,229	474,127	・口座振替導入済 (約9割の職員が口座振替)
<b>支出 計</b>		<b>230,210</b>	<b>6,520,393</b>	※歳出金額に占める割合は0.06%

## (2) キャッシュレス（収入）

### 1. 都庁における現状

<実態調査中間とりまとめ結果>

（平成28年度一般会計及び特別会計の金銭出納員による現金取扱い収入） ※議会局、警視庁除く

種類		件数（件）	金額(千円)	現状（現金以外の手段）
⑤都税	都税事務所窓口での収納等	13,325	2,592,998	⇒多様な手段を導入済 (クレジットカード、口座振替等)
⑥使用料	検査・診断料 等	31,112	214,356	⇒ <b>制度上クレジットカード・電子マネーの導入が可能</b>
⑦手数料	許認可申請、証明交付・閲覧、検査認定等	378,907	3,575,510	
⑧その他	物品・刊行物の売払い代金 等	13,866	235,401	・学校等における実習生産品の売払い代金などを現金により収納
<b>収入 計</b>		<b>437,210</b>	<b>6,618,265</b>	※歳入に占める割合は0.06%

※都施設におけるクレジットカード・電子マネー収納の導入状況は、次ページの資料のとおり

# (参考) 都施設におけるクレジットカード・電子マネー収納の主な導入事例

## 1. 都庁における現状

クレジットカードのみ	電子マネーのみ	クレジットカード及び電子マネー
<p>○都税 (全税目 ※非電算化税目除く)</p> <p>○都立病院 (全8病院)</p> <p>○水道・下水道料金</p> <p>○指定管理者制度対象施設 (利用料金制) の一部</p> <p>〈文化施設〉 東京都江戸東京博物館 東京文化会館 東京芸術劇場</p> <p>〈スポーツ施設等〉 東京体育館 東京武道館 駒沢オリンピック公園総合運動場 有明テニスの森公園テニス施設 大井ふ頭中央海浜公園</p>	<p>○指定管理者制度対象施設 (利用料金制) の一部</p> <p>〈都立庭園〉 浜離宮恩賜庭園 旧芝離宮恩賜庭園 小石川後楽園 六義園 向島百花園 清澄庭園 旧古河庭園 旧岩崎邸庭園 殿ヶ谷戸庭園</p>	<p>○指定管理者制度対象施設 (利用料金制) の一部</p> <p>〈都立駐車場〉 八重洲駐車場 日本橋駐車場 宝町駐車場 新京橋駐車場 東銀座駐車場</p> <p>〈文化施設〉 ・今年度中に導入予定 東京都江戸東京博物館 (※) 東京都写真美術館 東京都美術館</p> <p>※クレジットカードは導入済</p>

### (3) はんこレス (中間処理レス)

- 9月から10月にかけて、「総務事務」を詳細に分解し、各々の事務について事務点検票を作成し、事務のフローを確認した。

**総務事務を、大きく7カテゴリに分類。**  
**更に、個別具体の事務のレベルで846に分解**

**事務のフローを可視化し、いわゆる「はんこ」や中間処理・紙処理の所在を確認**

#### <分解した事務の一覧>

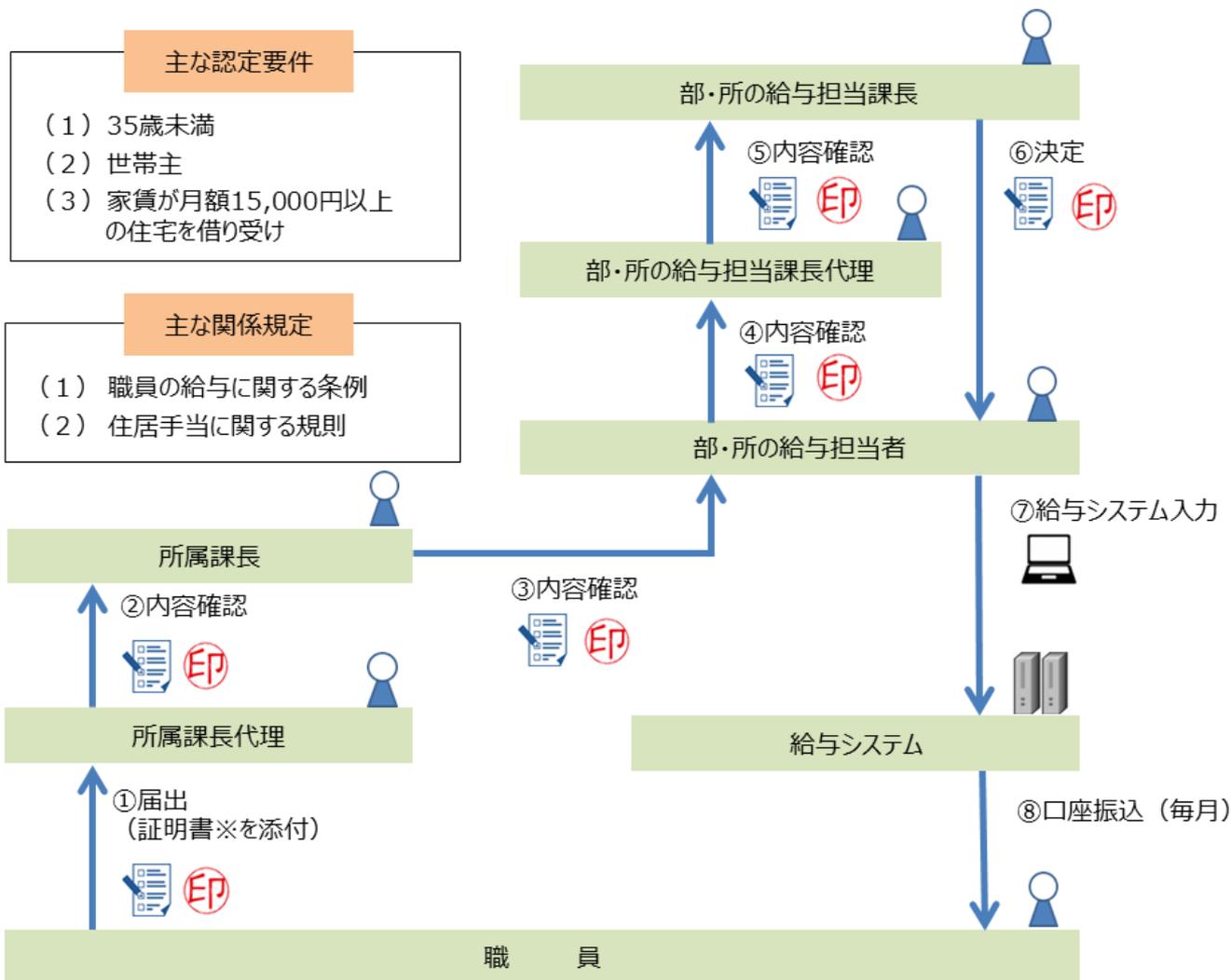
給与・旅費	手当支給・返納	64事務
	給与減額	
	年末調整	
	旅費支給	
	etc...	
人事	研修受講管理	71事務
	昇任選考事務	
	サービス管理	
	非常勤職員任用管理	
	etc...	
共済	資格・扶養関係	85事務
	短期給付関係	
	長期給付関係	
	福祉関係	
	etc...	
福利厚生	保険事業	88事務
	給付事業	
	会員管理	
	財形貯蓄	
	etc...	

契約	財務局契約 (一般競争, 希望制指名競争, 総合評価, etc...)	120事務
	局・所契約 (一般競争, 希望制指名競争, 総合評価, etc...)	
会計	収入事務	246事務
	支出事務	
	振替収支	
	etc...	
物品	備品管理	172事務
	消耗品管理	
	不用品処分	
	用品事務	
	etc...	
計		846事務

※ 事務の分解はカテゴリによって考え方の違い等があり、事務数が仕事量を示すものではない。

# 事務点検のサンプル（フローの可視化）

例：住居手当の申請から支給までの手続き



※証明書の例：住民票（写）、賃貸借契約書（写）

## 2 課題と今後の取組

## 2 課題と今後の取組 (1) ペーパーレス

### <全庁的な目標設定>

**平成30年度～平成32年度までの3年間**で達成すべき全庁的な目標を設定

#### 1 コピー用紙の使用量

**20%削減** (平成28年度：110,891箱 ⇒ 平成32年度：88,712箱)

#### 2 ペーパーレス会議実施率

**90%** (現状 68.0%) ※ 現状は本年10月「ペーパーレス強化月間」における実施率

### <今後の取組>

#### 1 ペーパーレスな仕事の仕方の推進

- モニター等の機器の操作方法やペーパーレスに適した資料の作成・保存方法を周知するとともに、資料のPDF化や複合機の活用など、紙資料を抑制する取組を推進
- 紙を使用している事務処理のペーパーレス化

#### 2 さらなるICT環境の充実

- 軽くて持ち運びやすい端末への更新
- 業務データを端末に保存する必要のない安全な環境（仮想デスクトップ基盤）の構築

○ 原則キャッシュレス化に向けた今後の検討の方向性を整理

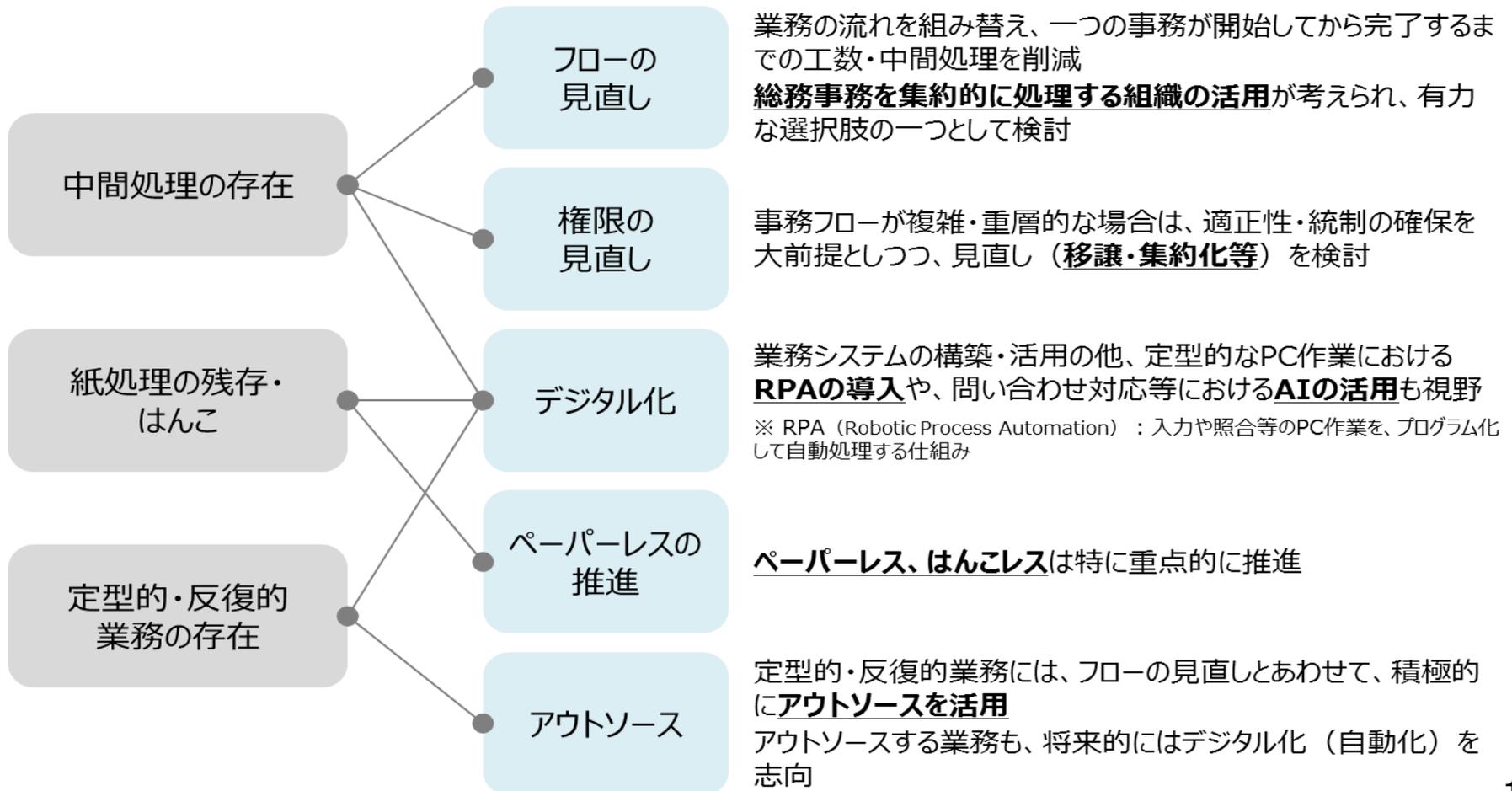
種類		現状（現金以外の手段）	今後の検討		
			規定等の見直し	周知・働きかけ	
支 出	①資金前渡	・原則、支払手段は現金 ⇒ <b>支払手段の拡大には規定等の見直しが必要</b>	<b>必要</b>	<b>必要</b>	
	②給与・報酬	現金を希望する職員への支給 ⇒口座振替を導入済（99.8%の職員が口座振替）	○	○	
	③旅費	普通旅費 概算払旅費	・外国・国内宿泊出張など高額旅費は立て替え困難なため職員に概算額を事前支給、後日精算 ⇒ <b>口座振替の導入には規定等の見直しが必要</b>	<b>必要</b>	<b>必要</b>
		特別旅費 確定払旅費（宿泊を伴うもの）	⇒ <b>会計管理局協議により口座振替が可能だが、概算払とセットでの事務の見直しが必要</b>		
	特別職の非常勤職員の旅費	⇒ <b>会計管理局協議により口座振替が可能</b> （既に一部で口座振替を導入済）	○	<b>必要</b>	
④児童手当	⇒ <b>制度改正によりH29年2月から口座振替導入済</b> （既に約9割の職員が口座振替）	○	<b>必要</b>		
収 入	⑤都税	⇒ <b>多様な手段を導入済</b> （クレジットカード、口座振替等）	○	○	
	⑥使用料				
	⑦手数料	⇒ <b>制度上クレジットカード・電子マネーの導入が可能</b>	○	<b>必要</b>	
	⑧その他			※点検実施	

### (3) はんこレス (中間処理レス)

- 現在、各種事務フローにおいて課題がどのように存在するかを明確化するとともに、他自治体との比較や業務実態調査を実施中
- 平成30年1月から、確認された課題について検討していく。

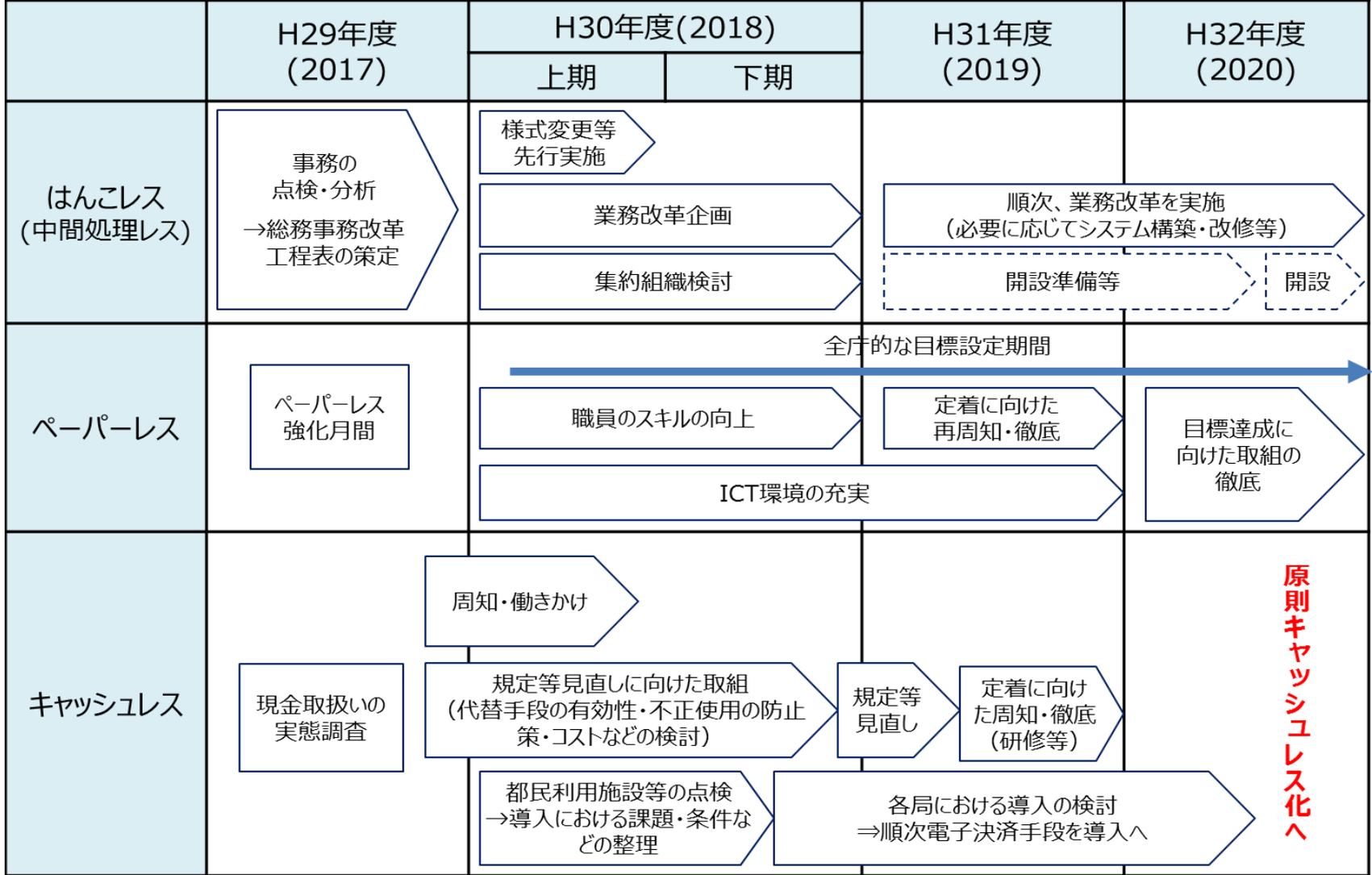
#### 主な課題

#### 検討の方向性



# しごと改革：都庁BPRの推進（全体スケジュール）

- 副知事を座長とし、制度所管局の職員等を構成員とする「都庁BPR検討チーム」を設置
- 同チームが推進役となって、関係局が連携して取り組んでいく。



原則キャッシュレス化へ